

温川鉱山施設見学を開催しました

浅瀬石川ダム流域水質保全対策連絡会

浅瀬石川ダム流域水質保全対策連絡会では、卯根倉鉱山(株)北部事業所に協力いただき、平成27年9月28日(月)に、13機関22名の参加で、温川鉱山跡地の施設見学を実施しました。

温川鉱山は、昭和62年4月から黒鉱(主に銅、亜鉛)を採掘していたが平成6年3月に閉山しました。その後、鉱業権が卯根倉鉱山(株)に移転され、これまで卯根倉鉱山(株)にて坑廃水処理が実施されています。

施設見学の概要は以下のとおりで、管理状況は良好でした。

■温川鉱山管理状況の概要

○水質検査は毎月1回、坑廃水、清澄池出口、温川沢下流の3箇所で行っている。水質には問題は見られない。

○緊急時には、親会社や国、県等の関係機関に連絡する体制が確立されている。

○施設点検は、現地の点検員が毎日実施している。(冬季も除雪して実施)

○坑廃水の濁度が300度で凝集剤が自動的に投入されるシステムとなっている。

○坑廃水は、凝集剤投入後、第1、2、3沈殿池、清澄池を経て河川に排水されている。

○濁度異常や停電の際には、自動通報するシステムとなっており、現地の点検員が現地確認することになっている。また、必要に応じて水質分析を実施することになっている。



施設見学開会式の状況



北事業所長による概要説明状況



坑道入口の状況



坑道内部の状況



濁度計



凝集剤タンク室



凝集剤タンク、凝集剤投入動力盤



第1沈殿池



第2、3沈殿池、清澄池



河川放流口